
菓子争奪日

如月 明

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

菓子争奪日

【Nコード】

N0928Y

【作者名】

如月 明

【あらすじ】

今日はハロウィン。

《奴ら》はどのように過ごしているのか？

（前書き）

作者はセンスないです。そこら辺を承知してご覧ください。

今日は“ハロウィン”。

もともと「キリストのいる木を伐採してはならない」という信仰を広める「為ケルト人が行い始めたこの行事」。

だが、それも今となつてはその理由まで知る者は少なく、ただ「仮装して家々を回り脅かし、お菓子を貰えなければ悪戯する」というのがメジャーだ。

が、世の中には、ハロウィンの意味を履き違えていたり、いい大人が本気でお菓子を貰いにいたり、悪戯をしたりする。

例えば…あ、噂をすれば影ですね。

「おい！鶏食お鶏ー！」

…“Trick or treat”の間違いでしょうね。

「高3にもなつて“Trick or treat”も言えないつて、どつという頭してんですか…(呆)」

「どうだこの仮装！」

そのバカは洗濯したにはありえないほど縮んでいるジャージに、マジックで顔に髭を描くという、よく言えば《エコ》、悪く言えば《側にこんな奴いたらすぐ他人のフリするな》といった格好だった。

「仮装するにしたつて、そんなただの変質者の風貌じゃ、C組のくま吉君と同じ運命を辿る羽目になりますよ…」

きつと、髭描いたマジックも油性とか使ってますね。このパターンは。

「Wear a sailor blouse or Treat
!!!」

「お早うございます、て“Wear a sailor blouse”って何なんですか?!

絶対にセーラー服は着ませんよ!」

えー、バカ2号が到着。

お菓子くれなきゃセーラー服着せるぞ と言っています。

『ザクッ』

「死ねイカ！（怒）」

「お早う。まあ、仮装自体はあっちのバカ男よりずっと良いよ。」

「五十歩百歩だろ。」

「皆ー、おはよう。」

「センセ、おはよ。」

「…ひょっとして、マーフィー君の被りモノですか？」

「応顔が出る様に作ってあるみたいです。」

「この日の為に苦勞してつく…」

『ドスッ』

「べにましっ！」

「このヘタ男が…」

「お早う。」

すでに、3人仮装したみたいですな。

残りの3人はどうでしょうか？

「そういえば、おいもちゃんも仮装道具持ってきてないの？」

「だ、誰が仮装なんて…」

『ゴソゴソ…』

「何漁ってんですか?!」

「あつ、何か脇ポケットに包帯3つも入ってるぞ！」

「…妹子も仮装したかったのか…しかもミイラ男…」

何ともナンセンスな仮装をしようとしていたみたいですね。

「じゃっじゃあ、そう言う鬼男はどうなんだよ?!」

「俺は仮装なんて…」

「あれ〜？何かインスタントの髪染めとでかい釘みたいなものあるけど？」

しかも今日美術無いのに絵の具？（ニヤニヤ）

「フランケンシュタインなんだ…こっちも五十歩百歩だったんじゃないか。」

「…たまにはいいだろ。」

「じゃあ、曽良君は？」

「仮装しないの？」

「そんな恥さらし、すると思ったんですか。一緒にしないでほしいですね。」

「うう…」

「まあまあ、とりあえず今日ぐらい。」

『ポスッ』

「うん…似合ってるよ…狼…ぷくくっ…」

「たっ確かに…」

「…なら、《今日ぐらい》《いいですね？》（ニヤリ）」

「「「「「？？」」「」「」」

あー、引き金ひきましたね…海の日でもないのに笑いましたね…

「…“Kill or treat”。お菓子を寄越さなければ殺しますよ。」

「「「「「ギヤアアア…！」「」「」「」」

仮装させたのが運の尽きでしたね。

おや？まだおバカさん達がいるみたいですよ。

『ガラッ』

「ほあちゃっー!!」

『ドゴオッ』

「い、いきなり何すんの神楽ちゃん！」

「今日はハロウィンアル。だから菓子寄越せよ。」

実力行使ですね。

「いや、菓子あげるにしても今ので死んだら終わりでしょうが！」

「あら、お菓子だったらここにあるわよ。

こうなるだろうと思って。^^」

…ハイ、ダークマター登場しました。

「い、今お腹一杯だから遠慮しとくアル！（焦）」

「新ちゃんは？」

「ぼ、僕もいいです！（怯）」

「じゃあ、この俺が完食してさしあげますよ！」

『ドスッ』

あえなく撃沈。

「どこの動物園から逃げ出して来たのかしら？^^」

「“Kill or die”でさア。死ななきゃ殺しやすぜ。」

「どっちにしろ死ぬんじゃないか！（怒）」

「はい、静かに！」

それよりも、どういうことかな？これは。」

「これって何ですか？」

「全員菓子を寄越さないってどういうことだゴルアアア！！（怒）」

居ました、ここに《いい年こいて本気で菓子貰いに行った奴》。

「あたし、お菓子ないんで、悪戯の方がいいです！！／＼／」

「てめーは黙ってろ、ドMが。」

「ああ、もっと…！！／＼／」

うん、いつもと何ら変わらないようです。

ということ、よく分からないまま終わります。

（後書き）

皆様にとって今日のハロウィンが幸せな1日でありますように。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0928y/>

菓子争奪日

2011年10月31日16時15分発行